

本空古墳(さいたま市)

ほんもく

これが本空古墳/北側から見たところ/正面に古い説明板が立っている



円墳と記されているが、どうも方墳らしい

浦和市指定史跡

本空古墳

昭和四十六年二月十二日指定

所有者 竹内正明

小川正一

土合、大久保地区は、浦和市史に記されている古くから開発の進んだ地域で、土器等の存在によってもそれがうかがえます。この本空古墳は土合古墳群に属しています。かつて土合古墳群は数多くの古墳を有していたものと思われませんが、現存するのは三基のみで、いずれも水田を下に望む洪積台地上に立地しています。この古墳は直径三〇メートル、高さ四・二五メートルの円墳で、北側と西側の一部が削られています。現存部は良く整っており、幅二メートルの古墳をとりまく周溝が確認されています。築造年代は古墳時代後期六〜七世紀と思われ、当地方における貴重な文化財です。

昭和五十七年一月

浦和市教育委員会

東側から見たところ



そこから左手を見たところ



南東側から見たところ



西側から見たところ



これは南西側から見たところ/こちら側から見ると一段高い位置に築造されているのが見て取れる/正面に階段がある



ここは緑地となっているようだ



中島本空緑地

中島本空緑地
042-711-0296

この緑地は、さいたま市みどり愛護会のボランティアの皆さんにより自然環境を守るための保全活動が行われています。

緑地内の動植物を取ったりゴミを捨てたりしないようお願いいたします。

注意

- ・この都市緑地内には、文化財があります。木々と文化財を大切にし、利用して下さい。
- ・火気厳禁です。
- ・夜間の立入りを禁止します。
- ・その他危険な行為や迷惑となるようなことは禁止します。

階段を登ると正面に墳丘が見える



近づいて見たところ



説明坂が立っている



浦和市指定史跡

本柵古墳（ほんもくこふん）

昭和四十六年二月十二日指定

本柵古墳があるこの場所は、大宮台地とよばれる洪積台地の西端にあたり、荒川の低地を望む台地の縁辺部になります。

古墳の現状は、東側と北側とが道路などによって削られています。全体としてはよく墳丘を残しています。平成四年に実施された墳形を確認するための発掘調査では、古墳の周囲に幅約一・五m、深さ約一mの堀が四角くめぐらされていることが確認されています（墳丘を保護するために設置された柵は、ほぼこの堀の外周部に沿っています）。これにより、

本柵古墳は一辺が二〇m以上、高さ約四・五mの規模をもつ、古墳時代後期の方墳であることがわかりました。

この付近では、すぐ近くの与野市今宮2号遺跡から同時代の方墳が発見されています。また、本柵古墳の南側、台地の先端部付近からは、六世紀初頭の円筒埴輪が出土しています。かつてはこの付近に多くの古墳が存在していたようで、一つの古墳群としてとらえられるものと考えられます。

平成十三年三月



発掘調査箇所と堀の位置

浦和市・浦和市教育委員会
文化財に関する問合せ先さいたま市教育委員会文化財保護課

北側と東側が道路によって削られている



発掘調査箇所と堀の位置

この柵が堀の外周部を表すようだ



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/saitama_honmoku/

<http://www.city.saitama.jp/004/005/006/001/005/001/003/p000506.html>

<http://kofunmeguri.hatenablog.com/entry/2017/05/03/010000>

https://blogs.yahoo.co.jp/ken_kohun/65973442.html?_yosp=5pys5p2i5Y%2Bk5aKz77yI44GV44GE44Gf44G%2B5biC77yJ

<http://kofunnomori.web.fc2.com/saitama/urawa/honmoku.htm>

<http://yamada.sailog.jp/weblog/2017/05/post-9c0e.html>

<http://cycling451.blog.jp/archives/1031795293.html>

